

シリーズ



現場最前線からの便り

国有林の現場の最前線となる森林事務所・治山事業所等の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【東信森林管理署】

佐久森林事務所

森林官 岩本 真由子

本事務所は長野県東部に位置する、佐久穂町内の国有林を管轄しています。

かる威厳をもって立っており、地域住民に大切にされています。

管内の標高は一、〇〇〇㍎を超えるとところが多く、夏は涼しく冬は厳しい寒さが続きます。毎日の現場はもちろん屋外ですので、夏は気温以上の暑さを、冬は耳が凍るほどの寒さを感じます。自然が厳しい分、丁寧な準備のもとで毎日の現場に向き合っています。

管内は、カラマツを中心とした人工林が多く、地域の水源等の役割を果たしています。そのほか管内西部には、澄んだ湖面と山岳の風景が美しい双子池があり、東の茂来山には、森の巨人たち百選に選ばれたトチノキの「こぶ太郎」が、一目でそれと分

でその日の現場近くまで向かいます。林道沿いの現場ばかりではありません。林道沿いの現場ばかりではありませ



提供：茂来山コブ太郎保護協議会

んから、現地までは足元に気を付け、危険を見逃さないように登っていきます。道中は鳥の声が響き、開けたところでは山裾に広がる佐久穂町の街並みや田畑が見渡せます。見慣れた景色ではあるのですが、自分は今とても美しいところで仕

事をしているのだと、日々しみじみと感動しています。

現場では、管轄する国有林に関するほぼすべての仕事をします。例えば本事務所では現在、主にカラマツを伐採して木材を生産し、多様な森林へ誘導するための事業を行っています。それらが安全かつ滞りなく完了するよう、見守り指導する監督業務も、大切な仕事の一つです。

伐採終了後は少し寂しい景色となりますが、その後苗木が育ち世代交代していく様子を見ると、とても長いスパンの仕事に携わっている誇りを感じます。

他にも、林道の点検や、貸付した土地の確認など様々な業務を通じて、国有林の適切な管理に努めています。ちなみに、現場でのお弁当は大きな楽しみの一つです。体を動かしてお腹が空いている状態なので、外で食べると、一層おいしく感じます。

帰り道も気を引き締めて下山し、事務所まで帰ってくるとホッとします。事務所では書類仕事や道具の手入れを済ませて、家に帰ります。



日本一海から遠い地点に到達した筆者

【未来の担い手へのメッセージ】

「林学に触れたこともなければ、体力も無い。森林づくりに関わる仕事なんて自分には出来ないかな。」そう思っている方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、実際にはいろんな職員がいます。私自身、文系の運動オンチですから、大丈夫です。仕事に励む中で、必要な知識や体力はだんだん身につけていきます。

「森林官」という素敵な響きにワクワクする方は、インターンの機会などもありますから、ぜひ一歩踏み出してみてください。